

平成29年4月27日

機械新聞（7面）に記載されました



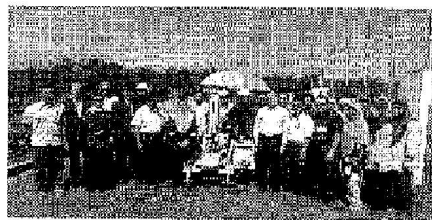
戸建住宅の自動地盤調査機「ジオカルテ」を製造・販売する日東精工（本社・京都府綾部市、社長材木正巳氏）は、ジャバンプームシールド（以下、JHS社）とマレーシア工科大学（以下、UTM大学）が中心に取り組みを進めている。「マレーシアの地盤調査にSDS試験を適用する共同研究」にジオカルテⅢSDS試験機一式を貸与し参画する。

近年、産学連携の強化を背景に地震の多いニュージージーランドや軟

マレーシア地盤調査に参画 「ジオカルテ」貸与

日東精工

弱地盤の多いタイなど東南アジアを中心に海外展開を実施してきた



UTM大学でのセレモニー（中央がジオカルテ

が、このほけスクリーンドライブングサウンドディング試験（SDS）のさらなる普及を目的し、地盤調査・解析で業界大手のJHS社が、マレーシアのUTM大学と共同研究契約を締結した。同社はこの共同研究に「ジオカルテⅢSDS試験機」を貸与し、全面協力ならびに支援をすることへ合意。今年の3月、共同研究の開始に当たり、UTM大学において、副学長をはじめ多くの大学関係者の出席のもとジオカルテのデモンストレーションと研究開始に關わるセレモニーが盛大に行われた。今後はUTM大学での研究をもとに、SDS試験がマレーシアにおいて信頼できる地盤調査方法として認可されることを目指していく。

©機械新聞 無断転載・複製を禁ずる